

ロケット着地方法は

和田幼稚園で 種の模型作り実験 玉野高生

昨年10月、茨城県ではいけない」と説明し、やマツといった植物のあったモデルロケット 身近にあるゆっくり落 種を例に挙げた。の全国大会中高生の部 ちるものとしてカエデ 園児たちは生徒に教

わりながら、折り紙や 発泡スチロールを使っ て種の模型を作った。 できた模型は空中でく るくと回転してゆっ くり落下。「何で」す ごい」と関心を示し、 何度も何度も投げ上げ

で3位に入った玉野高 の生徒が23日、和田幼 稚園で理科の実験教室 を開いた。打ち上げた ロケットを安全に落下 させる方法を、植物の 種に例えて分かりやす く紹介した。

理系選択の2年生4 人が講師を務め、年長 組の園児11人が参加。 「ロケットは打ち上げ た後に落ちるけど、そ のときに壊れないよう 安全に着地させなくて



玉野高生徒に教わって工作した種の模型を 投げ上げる園児ら

「打ち上げがすごかつ た。いつか作ってみた い」と笑顔を見せた。 指導した佐藤遥香さん (17)は「子どもたちが 興味を持って作ってく れたのでうれしい。教 室を機に科学の楽しさ を知ってもらえたら」 と話した。

実験教室は2016 年から毎年開いてい る。(内田貴大)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。